

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対総合研究事業）
（分担）研究報告書

市民公開講座の実施とオンデマンド配信（心臓・脳卒中）

研究代表者 磯部光章 公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院院長

研究要旨

二年間にわたって行われた班研究である循環器病の維持期・生活期におけるリハビリテーションの有効性にかかる成果を一般市民に公開し、併せてリハビリや両立支援、社会的な支援の観点から公開講座を施行した。令和6年度3月20日に開催し、236名の参加者を得た。公開講座の様子はオンデマンド配信で一般に無料公開を継続している。参加者からは良好なアンケート結果をえた。

分担研究者

中山敦子・榊原記念病院心臓リハビリテーション室長
近藤国嗣 東京湾岸リハビリテーション病院/東京湾岸リハビリテーション研究・教育センター
吉田 俊子・聖路加国際大学・大学院看護学研究科・教授
豊田章宏 独立行政法人労働者健康安全機構中国労災病院治療就労両立支援センター
牧田茂 川口さゆうぼらリハビリテーション病院/埼玉医科大学国際医療センター
角田亘 国際医療福祉大学医学部リハビリテーション医学教室

A. 研究目的

脳卒中、心疾患とも慢性期、回復期、維持期・生活期のリハビリについては、必ずしも十分な科学的根拠がそろわず、また医療機関における診療体制の構築も不十分な現状が続いている。この間当研究班ではその有効性、実施状況について研究を重ねてきた。結論としてリハビリは継続的に行うことが予後改善、QOLの改善に有効であることを示したが、一方その実施状況は極めて不十分な状況であることを報告した。そのためこの研究班で得られた成果を一般市民、患者、医療従事者に周知していくことを班研究の目的として設定した。

B. 研究方法

班員を中心に患者団体からも協力を得て、令和6年3月20日にオンラインでの市民公開講座を行った。主催は当研究班と日本心臓財団、榊原記念財団の3団体である。さらに回復期リハビリテーション病棟協会、心臓弁膜症ネットワーク、日本医師会、日本循環器学会、日本循環器協会、日本心臓リハビリテーション学会、日本心不全学会、日本脳卒中学会、日本脳卒中協会より後援を得た。講座のタイトルは「循環器病後の豊かな生活を目指して～脳卒中・心臓病後の維持期・生活期リハビリ

テーションと社会生活～」とした。7つの講演とパネルディスカッションで構成した。講演には班員のほかに厚生労働省、および患者団体からも演者として参加をいただいた。

（倫理面への配慮）

倫理面の配慮は可能な限り行った。

C. 研究結果

3月20日（水・祝）13:30～16:00にZoomで登録者に配信を行った。総登録者数は370名、視聴者数は236名であった。会の様子は引き続き研究班のHPから無制限、無料でのオンデマンド配信を行っている。参加者からのアンケートは108名から回答をいただき概ね好評であった。詳細は以下のサイトに掲載した。
[5c3ea42fa8b2d3f30d2ef7c10b9c253a-3.pdf \(heartr.or.jp\)](https://www.heartr.or.jp/5c3ea42fa8b2d3f30d2ef7c10b9c253a-3.pdf)

D. 考察と結論

研究班の成果を社会還元する企画であり、限られた予算の中で適切な情報発信がなされた。

E. 健康危険情報

本研究は侵襲を伴わないガイドブック作成のため、健康被害等は生じなかった。

F. 研究発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

1. プログラム

- 13:30 **開会あいさつ**
磯部 光章(榊原記念病院 院長)
- 13:30 **講演** 進行:MC(影アナウンス)
13:35 厚生労働省より
(10分) 丸目 恭平(厚生労働省)
- (15分) 心臓病の回復期・生活期リハビリテーション
中山 敦子(榊原記念病院 循環器内科 副部長)
- (15分) 脳卒中の回復期・維持期リハビリテーション
近藤 国嗣(東京湾岸リハビリテーション病院 院長)
- (15分) 病後の回復・再発予防を目指す生活・食事と日常生活の工夫
吉田 俊子(聖路加国際大学 看護学部長・教授)
- (15分) 社会復帰に向けての課題を克服する-両立支援とは-
豊田 章宏(中国労災病院台蔵労両立支援センター所長)
- (15分) 脳卒中回復を早めるためにまず知ろう。マヒ・お薬・リハビリの何
川勝 弘之(日本脳卒中協会 副理事長)
- (15分) 心臓手術後の生活を体験して
福原 斉(心臓弁膜症ネットワーク 代表理事)

市民公開講座

循環器病後の豊かな生活を目指して

脳卒中・心臓病 後の維持期・生活期リハビリテーションと社会生活

参加無料 2024年 **3/20** (水・祝) 13:30-16:00

Zoomライブ配信

開会あいさつ
磯部 光章 榊原記念病院 院長

第1部 講演
厚生労働省より
丸目 恭平 厚生労働省

**心臓病の回復期・維持期
リハビリテーション**
中山 敦子 榊原記念病院 心臓リハビリテーション室長

**脳卒中(脳血管疾患)の回復期・生活期
リハビリテーション医療**
近藤 国嗣 東京湾岸リハビリテーション病院 院長

**病後の回復・再発予防を目指す
生活・食事と日常生活の工夫**
吉田 俊子 聖路加国際大学 看護学部長・教授

**社会復帰に向けての課題を克服する
一両立支援とは**
豊田 章宏 中国労災病院 台蔵労両立支援センター所長

**脳卒中回復を早めるためにまず知ろう
マヒ・お薬・リハビリの何故**
川勝 弘之 日本脳卒中協会 副理事長

心臓手術後の生活を体験して
福原 斉 心臓弁膜症ネットワーク 代表理事

第2部 パネルディスカッション
司会
牧田 茂 川口せきやうほうしリハビリテーション病院
角田 亘 聖路加国際大学医学部
リハビリテーション医学教室 主任教授

パネリスト
中山 敦子 川勝 弘之
近藤 国嗣 福原 斉
吉田 俊子 藤本 茂
豊田 章宏

開会あいさつ
藤本 茂 自治医科大学
内科学講座神経内科学部門 主任教授

事前視聴登録
下記URLまたは二次元コードより視聴登録を
お願いします。
https://us06web.zoom.us/join/register/WN_XEDnCW2mTRya78CE0gfhNg

主催
厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策
総合研究事業「新薬器の慢性期・維持期のリハビリテーションの
有効性の検証のための研究」(研究代表者:磯部 光章)
榊原記念財団
日本心臓財団

後援
回復期リハビリテーション病棟協会、心臓弁膜症ネットワーク
日本医師会、日本循環器学会、日本看護協会
日本心臓リハビリテーション学会、日本心不全学会
日本脳卒中学会、日本脳卒中協会 (五十商標)

(事務局:榊原記念病院 経営企画部 メールアドレス:kikaku@shi.heart.or.jp)